

ダイバーシティ時代のヘルスケアを考える

—連携から統合へ—

日 時 2021年7月4日(日) 12:30~17:00

会 場 オンライン開催(ZOOM)参加者には後日 URL を送付いたします。

参加費 無料



ごあいさつ

東京医療保健大学大学院・医療保健学研究科 公開講座にご関心を持ち、ご支援くださっている皆さまがたに、心より御礼申し上げます。

まずはじめに、新型コロナウイルス感染症が依然収束しない現状を踏まえ、今回13回目となる本公開講座を、Web開催とする判断に至ったことをご報告いたします。会場でお目にかかることができず残念ではありますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

さて本研究科は、社会人が仕事を継続しながら履修し研究できる大学院として2007年に開設いたしました。看護マネジメント学、看護実践開発学、助産学、感染制御学、医療栄養学、医療保健情報学など8つの領域を有し、全国から集まった向学心あふれる学生たちとともに、教育研究活動を行ってまいりました。

その研究成果の一端を社会に還元するため、地域の皆さまや本学卒業生にも参加いただき、毎年開催しておりますのが、本公開講座でございます。今回、令和3年度のテーマは「ダイバーシティ時代のヘルスケアを考える—連携から統合へ—」です。

ヘルスケアにおけるダイバーシティという点、まず多種多様な専門職をいかにマネジメントして組織の目的を達成するか、などチーム医療の課題がイメージされるでしょう。あるいは、同じ部門・職種でも、目に見えない所で性格や価値観が異なっていたり、希望する働き方なども多様化しているという現状も注目できそうです。そうした多様なスタッフを画一的なルールに押し込めるのではなく、一人ひとりが能力を最大限発揮できるよう、いかにマネジメントするかもダイバーシティ時代の課題といえるのではないのでしょうか。

1つの鍵はこうした多様な人々の心の内を深く「知る」ことであると考えています。

そこで、今回も、臨床的な看護・栄養・感染分野と医療情報分野が協働している本研究科の強みを活かし、それぞれの研究成果を報告・共有するとともに、未来に向けて何ができるか、議論を深めていきたいと思っています。

また外部講師として、臨床のチーム医療の中でダイバーシティ・マネジメントを実践する先生方や、さらにダイバーシティ経営、組織行動論をご専門とする先生にもご講演をいただき、新たな知見や学びを得ていきたいと思っています。

なお、本講座は、参加する教職員にとって学生に対する教育内容・方法等の改善に資するよう、本学FD(Faculty Development) 活動の一環としても充実を図っていく方向です。

この機会に、本学関係者だけでなく地域の皆さまとも情報を共有し、わくわくするような新しい医療の姿を展望することができたら大変幸いと存じます。

東京医療保健大学大学院

医療保健学研究科 研究科長 坂本 すが

プログラム(予定)

第1部 研究発表

(敬称略)

発表1: 「看護師のワーク・エンゲイジメント, 職場継続意思に影響を与える看護師長の
マネージメント～看護師の多様化に焦点を当てて～」

中本美佳子さん(看護マネジメント学 2018 年度修了生)

発表2: 「感染制御チームの病院清掃受託業者への関与の実態」

小野聖子さん(感染制御学 2019 年度修了生)

発表3: 「骨密度測定を活用した妊婦への指導の効果について」

久保田知子さん(助産学 2019 年度修了生)

発表4: 「路上生活患者の食習慣と骨密度の関係」

渡部彩奈さん(医療栄養学 2020 年度修了生)

第2部 教育講演

講演1: 「訪問で行う摂食嚥下リハビリテーションの実際」

神奈川県歯科大学附属病院 全身管理高齢者歯科 診療科准教授 原 豪志先生

講演2: 「多職種共同チームにおける個人的多様性」

東邦大学医学部臨床支援室教授、
東邦大学医療センター大森病院栄養治療センター部長・栄養部部长

(本大学院医療保健学研究科 客員教授) 鷲澤 尚宏先生

特別講演

「多様性の境界線:ダイバシティ経営からみたチーム医療」

聖学院大学 政治経済学部 教授・政治経済学科長 八木規子先生

【お申込み方法】

下記 URL よりネット申請を行ってください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/d9073a81704324>



【主 催】東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科(品川区東五反田 4-1-17)

【お問合せ】医療保健学研究科 大学院事務室 公開講座係

TEL:03-5421-7685 Mail:info-master@thcu.ac.jp 【受付時間:月～金 8:30～17:00】